

NY マーケットレポート (2015 年 6 月 1 日)

NY 市場では、序盤に発表された米個人支出が市場予想を下回る結果となったことから、序盤のドルはやや軟調な動きとなった。しかし、その後に発表された米建設支出が、市場予想を大幅に上回ったことや、前回結果が大きく上方修正されたことを好感して、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、同時に発表された ISM 製造業景況指数も予想を上回る結果となり、米国の利上げ期待が高まったことも押し上げ材料となった。ドル/円は、一時 124.92 まで上昇し、2002 年 12 月 6 日以来の高値を付ける動きとなった。また、円が主要通貨に対して下落したこと、クロス円も堅調な動きとなった。

2015/6/1 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	124.18	124.35	123.95
EUR/JPY	135.43	136.35	135.33
GBP/JPY	189.44	190.00	189.33
AUD/JPY	94.99	95.17	94.85
EUR/USD	1.0907	1.0984	1.0904

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	124.18	123.99
EUR/JPY	135.86	135.13
GBP/JPY	189.55	188.55
AUD/JPY	95.05	94.62
EUR/USD	1.0946	1.0891

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	2056.87	+6.72
ハンセン指数	27597.16	+172.97
上海総合	4828.74	+216.99
韓国総合指数	2102.37	-12.43
豪ASX200	5735.40	-41.76
インドSENSEX指数	27848.99	+20.55
シンガポールST指数	3392.11	-15.66

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6953.58	-30.85
仏CAC40	5025.30	+17.41
独DAX	11436.05	+22.23
ST欧州600	400.57	+0.70
西IBX35指数	11238.10	+20.50
伊FTSE MIB指数	23435.67	-60.01
南ア 全株指数	52073.88	-196.98

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	124.82	124.92	123.87
EUR/JPY	136.35	136.59	135.51
GBP/JPY	189.73	189.86	188.62
AUD/JPY	94.94	94.99	94.64
NZD/JPY	88.47	88.67	88.28
EUR/USD	1.0923	1.0979	1.0888
AUD/USD	0.7606	0.7661	0.7599

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18040.37	+29.69
S&P500	2111.73	+4.34
NASDAQ	5082.93	+12.90
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15074.13	+60.04
ロシアボルサ指数	44760.10	+56.48
ブラジルボエスパ指数	53031.32	+270.84

6/2 経済指標スケジュール

08:50 【日】5月マネタリーベース
 10:30 【豪】1Q経常収支
 10:30 【日】4月毎月勤労統計[現金給与総額]
 13:30 【豪】政策金利発表
 16:30 【スウェーデン】1Q経常収支
 16:55 【独】5月失業率
 16:55 【独】5月失業者数
 17:30 【英】4月住宅証券融資高
 17:30 【英】4月消費者信用残高
 17:30 【英】4月マネーサプライM4
 17:30 【英】5月建設業PMI
 17:30 【英】4月住宅ローン承認件数
 17:30 【香港】4月小売売上高
 18:00 【欧】4月生産者物価指数
 18:00 【欧】5月消費者物価指数
 22:00 【シンガポール】5月購買部景気指数
 22:00 【シンガポール】5月電子産業指数
 23:00 【米】6月IBD/TIPP景気楽観指数
 23:00 【米】4月製造業受注指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1188.70	-1.10
NY 原油	60.20	-0.10
CMEコーン	352.25	+0.75
CBOT 大豆	926.00	-8.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.65%	0.61%
3年債	0.98%	0.93%
5年債	1.55%	1.49%
7年債	1.93%	1.87%
10年債	2.18%	2.13%
30年債	2.94%	2.89%

6/2 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 124.11 ユーロ/円 135.68 ユーロ/ドル 1.0933

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6996.75	+12.32	ダウ 先物ミニ	18097	+88
仏 CAC40	5051.77	+43.88	S&P 500 ミニ	2114.50	+8.50
独 DAX	11479.61	+65.79	NASDAQ 100 ミニ	4536.50	+25.50

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月独消費者物価指数(前月比) 0.1%(予想 0.1%・前回 0.0%)

5月独消費者物価指数(前年比) 0.7%(予想 0.7%・前回 0.5%)

5月独 EU 基準消費者物価指数(前月比) 0.1%(予想 0.1%・前回 -0.1%)

5月独 EU 基準消費者物価指数(前年比) 0.7%(予想 0.6%・前回 0.3%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

21 : 30

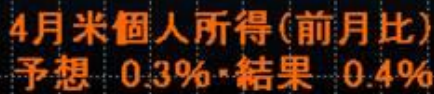
《 経済指標の結果 》

4 月米個人支出 (前月比) 0.0% (予想 0.2%・前回 0.5%)
前回発表の 0.4% から 0.5% に修正

4 月米個人所得 (前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.0%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米個人所得・支出》

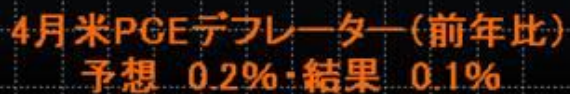
	4月	3月	2月	1月	12月	11月
個人所得	0.4	0.0	0.4	0.3	0.3	0.4
賃金・給与	0.2	0.1	0.3	0.5	0.1	0.8
可処分所得	0.4	0.0	0.4	0.2	0.3	0.4
個人消費支出	0.0	0.5	0.1	-0.3	-0.2	0.4
個人貯蓄率	5.6	5.2	5.7	5.5	5.0	4.5

21 : 30

《 経済指標の結果 》

4月米PCEデフレーター（前年比） 0.1%（予想 0.2%・前回 0.3%）

4月米PCEコア・デフレーター（前年比） 1.2%（予想 1.3%・前回 1.3%）



(出所：ブルームバーグ)



21 : 50

《 要人発言 》

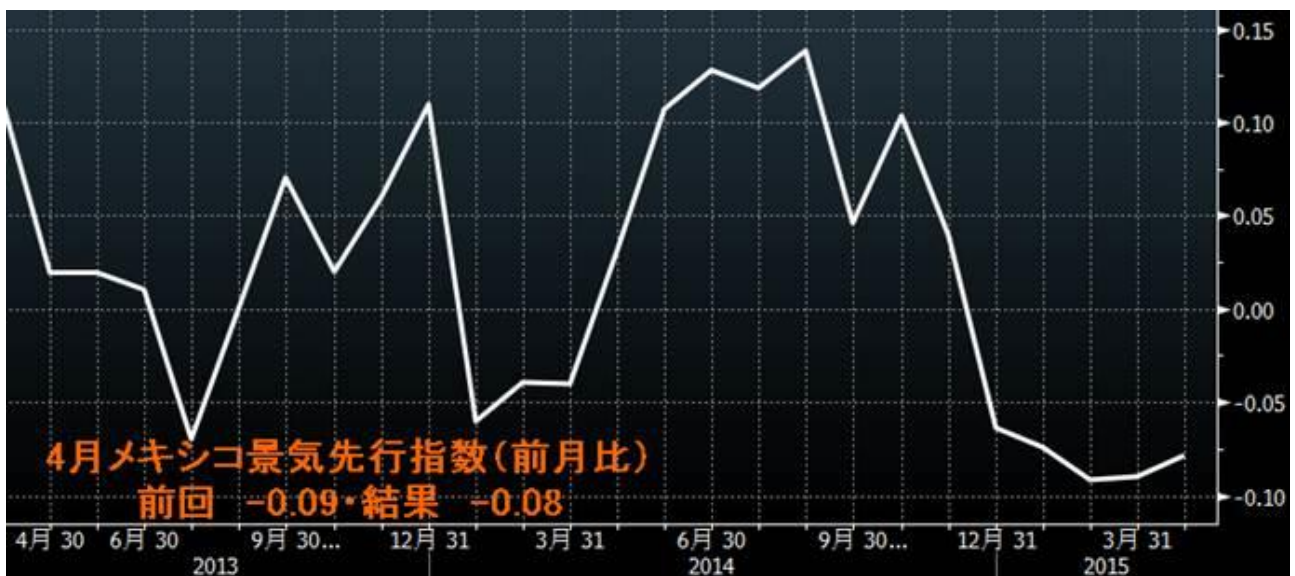
米財務長官

- ・「第2四半期の成長率は2%にとどまる公算大」
- ・「弱い第1四半期が一時的要因によるものとの判断は尚早」
- ・「引き締め開始の条件はまだ整っていない」

22 : 00

《 経済指標の結果 》

4月メキシコ景気先行指数(前月比) -0.08 (前回 -0.09)



22 : 33

米主要株価

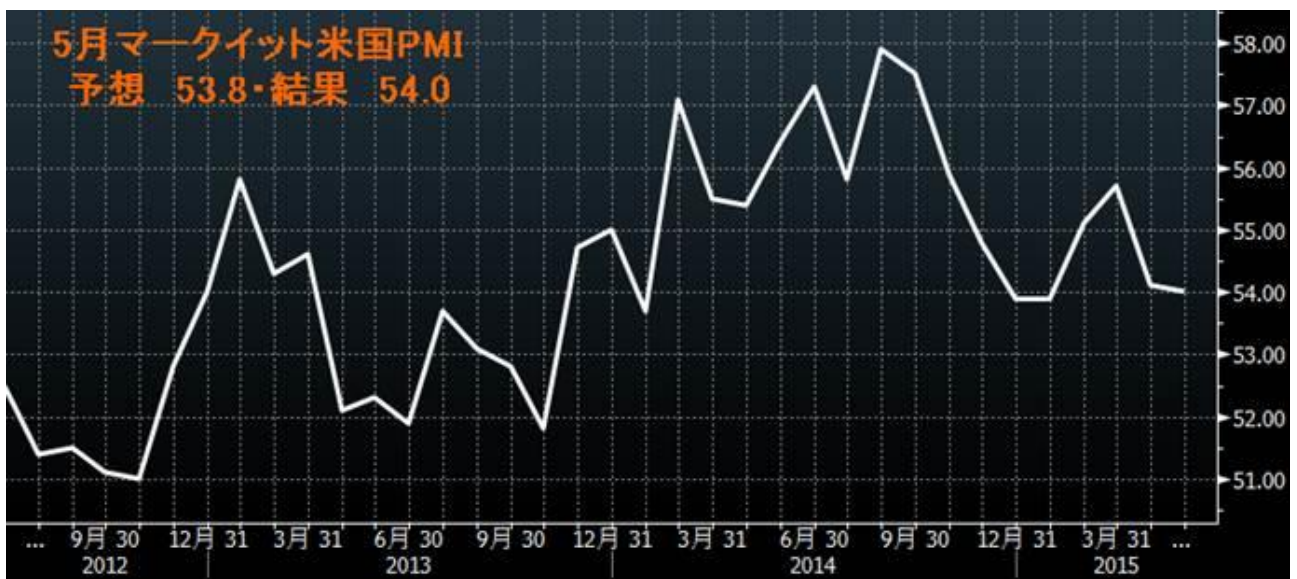
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18100.23	+89.55
ナスダック	5094.04	+24.01

(出所:SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

5月マークイット米国 PMI 54.0 (予想 53.8・前回 53.8)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米ISM製造業景況指数 52.8 (予想 52.0・前回 51.5)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《米 ISM 製造業景況指数》

5月・4月・3月・2月・1月・12月

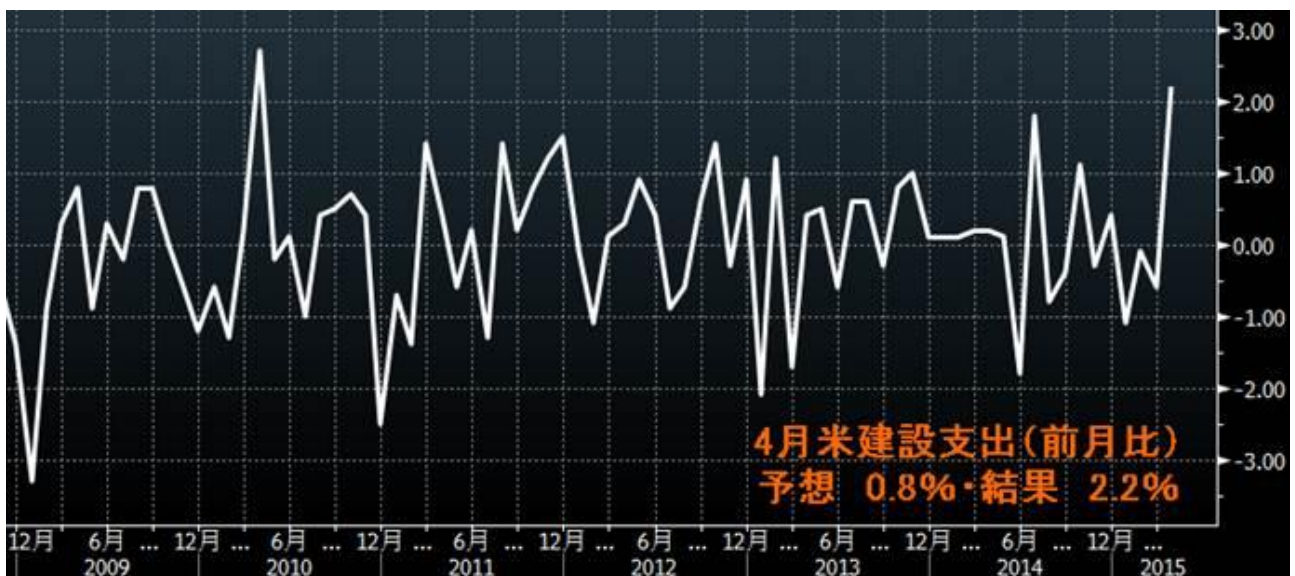
景気	52.8	51.5	51.5	52.9	53.5	55.1
価格	49.5	40.5	39.0	35.0	35.0	38.5
生産	54.5	56.0	53.8	53.7	56.5	57.7
新規受注	55.8	53.5	51.8	52.5	52.9	57.8
受注残	53.5	49.5	49.5	51.5	46.0	52.5
入荷遅延	50.7	50.1	50.5	54.3	52.9	58.6
在庫	51.5	49.5	51.5	52.5	51.0	45.5
雇用	51.7	48.3	50.0	51.4	54.1	56.0

23:00

《 経済指標の結果 》

4月米建設支出(前月比) 2.2%(予想 0.8%・前回 0.5%)

前回発表の-0.6%から0.5%に修正



(出所：ブルームバーグ)



23 : 35

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、建設や製造業関連の米経済指標が市場予想を上回ったことを好感した買いが入ったものの、米国の利上げ期待の高まりを背景に、上げ幅を縮小する動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 92 ドル高まで上昇する動きとなったものの、その後マイナス圏まで下落している。

≪ 経済指標のポイント ≫

(1) 米 4 月の個人所得・消費統計では、個人消費が市場予想の+0.2%を下回る 0.0%となった。一方、個人所得は+0.4%と市場予想の+0.3%を上回る結果となった。所得が伸びる一方、消費の動きは依然として鈍い。

①自動車や家具などの耐久財が-0.7%、食品やエネルギーなどの非耐久財は-0.5%。サービスは+0.2%とプラスを維持した。税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.4%、貯蓄率は+5.6%と前月から 0.4 ポイント上昇した。

②FRB が物価安定の目安とする個人消費支出 (PCE) 物価指数は、前年同月比で+0.1%となり、2009 年 10 月以来の低い上昇率となった。エネルギー関連の値下がり圧迫要因となり、長期的に達成すべき目標とする 2%を引き続き大きく下回った。また、変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は、前年同月比+1.2%となった。

(2) 4 月の米建設支出は、年率換算で前月比+2.2%の 1 兆 60 億 6000 万ドルと、市場予想の+0.8%を大きく上回り、金額ベースで 2008 年 11 月以来 6 年 5 カ月ぶりの高水準となった。また、増加率も 2012 年 5 月以来の高い伸びとなった。前年同月比では+4.8%となった。民間部門が高水準だったほか、公共部門も伸びて全体を押し上げた。

①民間の建設支出は、前月比+1.8%の 7251 億 8700 万ドルで、2008 年 10 月以来の高水準、前年同月比では+5.3%となった。住宅建設が+0.6%の 3530 億 8600 万ドル。前年同月比は-2.1%。住宅以外の建設は、前月比+3.1%の 3721 億 100 万ドルと 2009 年 3 月以来の高水準で、宿泊、オフィス、商業、製造業、教育、娯楽など幅広く伸びた。前年同月比は+13.4%。

②連邦政府など公共部門の建設支出は、前月比+3.3%の 2808 億 7300 万ドル。前年同月比では+3.5%。州・地方政府は、前月比+3.9%、連邦政府は-3.6%と前月に続きマイナスとなった。

(3) 5月の米ISM製造業景況指数は52.8と前月から+1.3ポイント上昇し、市場予想の52.0を上回った。製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる50は29ヵ月連続で上回った。

①生産は54.5（前月56.0）と前月から低下したものの、新規受注は55.8（53.5）、仕入れ価格は49.5（40.5）、雇用は51.7（48.3）、在庫は51.5（49.5）といずれも前月から上昇した。

②5月は18業種中「衣料・皮革製品」「家具関連製品」「紙製品」「食品・飲料・たばこ製品」など14業種が業況拡大を報告した。

③ISMによると、調査対象業界の回答には景気の回復や需要の増加、港湾ストで停滞していた米西海岸の物流の改善について前向きな意見があったが、ドル高の影響などを懸念する声も聞かれた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6953.58	-30.85
仏 CAC40	5025.30	+17.41
独 DAX	11436.05	+22.23
ストック欧州 600 指数	400.57	+0.70
ユーロファースト 300 指数	1587.29	+0.99
スペイン IBEX35 指数	11238.10	+20.50
イタリア FTSE MIB 指数	23435.67	-60.01
南ア アフリカ全株指数	52073.88	-196.98

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独DAXは、ユーロが対ドルで下落し、輸出企業の収益増加期待を背景に、堅調な動きとなった。一方、英FT100は、英経済指標が市場予想を下回ったことが嫌気され、売りが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18027.79 (+17.11)、S&P500 2107.68 (+0.29) ナスダック 5076.23 (+6.20)

1 : 00

《 経済指標の結果 》

4月フランス求職者合計 353.6万人（予想 351.0万人・前回 350.98万人）



（出所：ブルームバーグ）

《 欧州のポイント 》

5/29・・・5/22・・・5/15

購入プログラム・・・1466.79・・・1342.24・・・1224.05

資産担保証券（ABS）・・・72.12・・・62.30・・・61.31

カバード債・・・851.08・・・828.05・・・807.59

ECB がウェブサイトで公表したところによると、公的部門と民家部門の債券を合わせた5月の購入高は631億ユーロ（約8兆5700億円）。4月は603億ユーロとなり、夏季休暇シーズンで市場が閑散となる前に購入を増やした。

ECB の発表によると、国債と機関債の購入高は516億ユーロ増え1467億ユーロに達した。カバード債は100億ユーロ増え851億ユーロ、資産担保証券は14億ユーロ増加で72億ユーロとなった。ECB は月600億ユーロの購入を目標としている。

クーレ理事は、5月18日の講演で、7、8月に予想される債券市場の流動性低下に対応するため購入を増やすと発言していた。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、5月の米ISM製造業景況指数が市場予想を上回ったほか、4月の建設支出も予想以上に伸びたことで、米FRBによる利上げが意識されて売りが先行した。また、前週末の相場上昇の反動で利益確定の売りも出ていた。

午前の利回りは、30年債が[※]2.91%（前週末2.88%）、10年債が[※]2.15%（2.12%）、7年債が1.89%（1.87%）、5年債が1.51%（1.48%）、3年債が[※]0.94%（0.93%）、2年債が0.62%（0.61%）。

2:00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月メキシコ IMEF 製造業指数 52.4（予想 51.8・前回 51.4）

5月メキシコ IMEF 非製造業指数 51.1（予想 51.1・前回 51.3）



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ブルームバーグ）

3:40

NY金は、中心限月が前週末比1.10ドル安の1オンス＝1188.70ドルで取引を終了した。

4:20

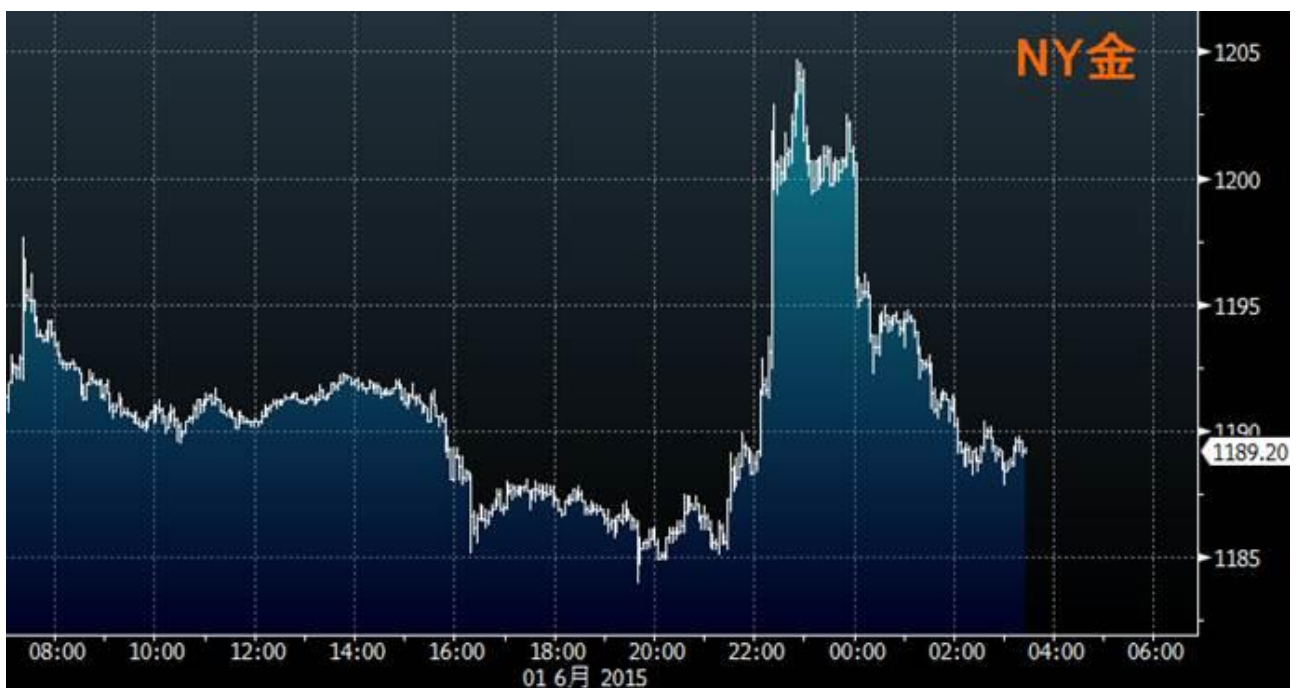
NY原油は、中心限月が前週末比0.10ドル安の1バレル＝60.20ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1188.70	-1.10
NY 原油	60.20	-0.10

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

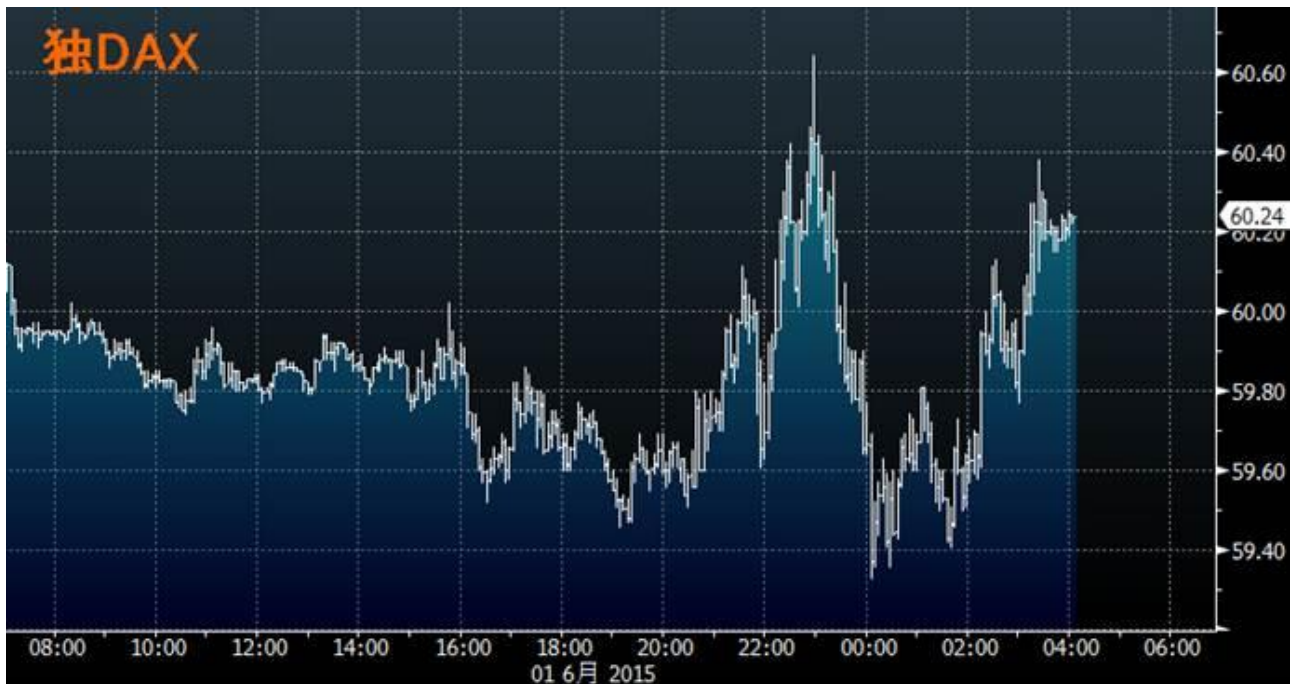
NY金は、ドルが主要通貨に対して上昇したのにつれて、ドルの代替資産とされる金を売る動きが先行した。ただ、4月の米個人消費が市場予想を下回ったことなどをきっかけに米国の早期利上げへの警戒感が後退して買われる場面もあり、下げ幅は限定的となった。



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建ての原油の割高感が相場を圧迫した。また、OPECが今月5日の総会でも減産に動かないとの見方も売りを誘った。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18040.37	+29.69	18105.83	17982.06
S&P500 種	2111.73	+4.34	2119.15	2102.54
ナスダック	5082.93	+12.90	5099.01	5045.67

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、建設や製造業関連の米経済指標が市場予想を上回ったことを好感した買いが入ったものの、米国の利上げ期待の高まりを背景に、序盤の主要株価はマイナス圏まで下げる動きとなった。その後は、米経済の改善期待を背景に、堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 92 ドル高まで上昇する動きとなったものの、その後マイナス圏まで下落する動きとなった。午後には堅調な動きとなり、95 ドル高まで上昇したものの、終盤には上げ幅を縮小する動きとなった。



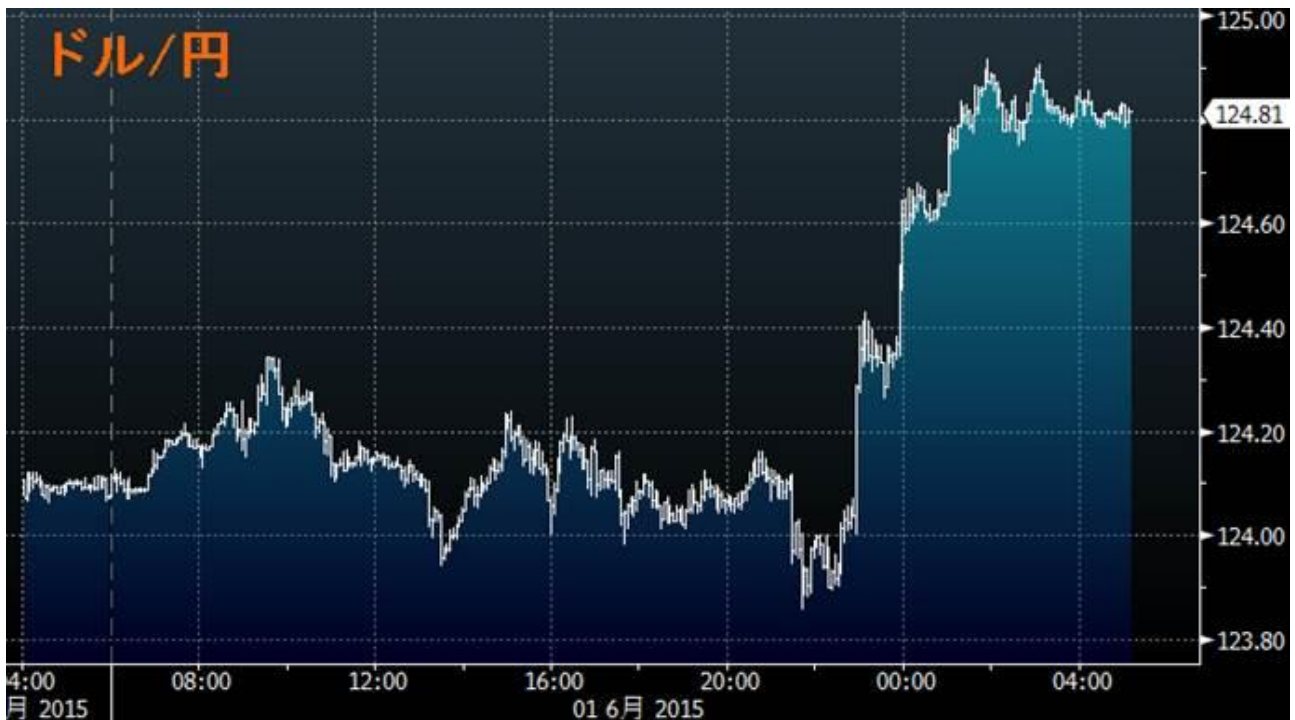
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	124.82	124.92	123.87
EUR/JPY	136.35	136.59	135.51
GBP/JPY	189.73	189.86	188.62
AUD/JPY	94.94	94.99	94.64
NZD/JPY	88.47	88.67	88.28
EUR/USD	1.0923	1.0979	1.0888
AUD/USD	0.7606	0.7661	0.7599

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤の米経済指標が予想を下回ったものの、その後の指標が堅調な結果となり、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、米国の利上げ期待の高まりからドル買い・円売りとなり、クロス円も堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。